

株式会社まちづくり川越

Date of Issue : April. 1, 2024

Page Total : 2



『シン・蔵里』始動！

株式会社まちづくり川越：埼玉県川越市（代表取締役社長：栗原幹雄）は、川越観光の重要拠点である「川越市産業観光館 小江戸蔵里」をより魅力的なランドマークとするため、新年度より新たな施策を展開いたします。

施策第一弾 “大吟醸専用機”登場！【ききざけ処 昭和蔵】

蔵里の中でも人気のスペース 埼玉県内全 32 蔵の日本酒を楽しむ「ききざけ処 昭和蔵」では、蔵元選りすぐりの大吟醸酒を楽しむ“大吟醸酒専用”の日本酒試飲機を、4月1日(月)より新たに導入いたします。



500円でメダル3枚と交換。大吟醸酒はメダル2枚・その他はメダル1枚で、埼玉県全蔵の日本酒を楽しむ。

既存の試飲機4台、40種類のききざけができるが、新規導入の大吟醸酒専用機では、既存

機の倍のコインで試飲可能とし、特別感を演出。一方で、大吟醸機は、一杯の量を多めにすることで、お得感も感じられるつくりとなっています。

また、試飲機で飲める商品本体のディスプレイを一新。日常では手の届きにくい高価な大吟醸酒をワンコインで試せる貴重な“体験”を提供することで、川越はもとより埼玉県の魅力を広く楽しく知ってもらいながら、わかりやすい陳列＝気に入った商品を見つけやすくすることで、試飲からのお土産購入率を向上。日本酒好きはもちろん、希少性の高いお土産品を求めるお客様への訴求を強化することで、昭和蔵認知の更なる、促進を目指します。



蔵を彩る“花手水”を設置【屋外スペース】

SNS で話題となり、川越観光の新しい魅力として注目されている花手水を、各蔵の入口に設置し、お客様をお出迎え。川越花手水の先駆けであり市内でもファンの多い“ウラニワフラワー”による作品が、花手水巡りに訪れる若者を誘致します。



「川越市産業観光館 小江戸蔵里」は、旧鏡山酒造の建物を改修した明治・大正・昭和の3蔵からなる地域文化の発信地として、市民・観光客に広く支持される複合商業施設です。

コロナ禍を乗り越え観光機運の高まる2024年度、さらなる賑わいと市民の皆様と親しまれる施設を目指して、4月度より、段階的に新たな企画に取り組んでいきます。

ご相談・お問合せ先

株式会社まちづくり川越 <https://www.machikawa.co.jp/contact>

担当：営業部 酒井 電話：049-228-8888 / メール sakai@machikawa.co.jp